



制作：かながわ経済新聞

首都圏産業活性化協会会員の構成(令和6年2月20日現在総数547) ●営利法人：266(個人事業主、金融機関含む) ●教育機関29 ●団体73 ●自治体20 ●個人会員159(コーディネーター含む)



トップインタビュー

株式会社 アサ電子工業 代表取締役 **麻健氏**

アサ電子工業は磁気近接センサ・高精度シリンダセンサ、高精度タッチスイッチ、電磁ブレーキなどの制御機器を製造販売し、高スペック・小型のシリンダセンサなどで取引先から高い評価を得ています。製造業の生産性向上や工程削減などにも寄与する製品の提案も、積極的に展開してきました。今回は同社の麻健社長に話を聞きました。

精度や耐久性に優れた製品で 生産性向上に貢献

省人化や半自動化のニーズに対応

当社は軸継手(カップリング)や、位置検出に使用する磁気近接センサ・高精度シリンダセンサ、高精度タッチスイッチ、電磁ブレーキなどの制御機器を製造販売しています。近年は半導体分野向けの受注が多く、国内での人手不足を背景として、省人化や半自動化などに関するニーズも高まっています。こうした中で、お客様の生産効率向上や工程削減、耐久性に優れた製品への置き換えによるコスト削減などを提案しています。

例えば、当社の高精度シリンダセンサでは、検知可能分解能が0.1ミリメートル以下で本体サイズが15ミリメートルという高スペックな小型のシリーズがあります。同シリーズは標準的な従来製品と変わらない価格設定にしています。また軸継手では、たわみ板に独自の積層した耐熱樹脂を使用し、ミスアライメント(回転軸同士の不一致)をスムーズに吸収しつつ疲労破壊を起こさない、耐久性の高い製品を用意しています。

自社開発製品も商品化

当社は創業当初から業界を問わず、各種量産部品の自動検査装置や省力化設備機



高精度シリンダACHシリーズ

器などを手掛けていました。お客様から「こんな装置を作ってもらえないか」といった相談を受けて、構想、設計から着手し製品化することで、開発力を磨いてきたのです。

その後OEM(相手先ブランド)製品として、センサや制御機器の製造を通してメカトロニクス応用技術を蓄積するとともに、自社の生産体系を整備しました。1990年には自社開発製品として、耐久性カップリングの開発に成功。同製品の商品化に踏み切りました。

検査装置や設備機器を主力としていると、どうしても顧客企業の景気動向に左右されやすくなります。そこで、顧客の裾野を広げ経営を安定させるために、独自開発した機械部品や電気部品をさまざまな産業分野に展開してきました。また社内では、社内サーバに出荷管理システムを自前で構築するなど、生産性を上げてきました。メカとエレキ両分野に加え、ソフトウェアについても知見やノウハウを有していることも、当社の特徴です。

部品加工や組み立ても内製化

当社のもう一つの強みとしては、加工や組み立てを外注に頼るのではなく、自前でも作り込みができることです。カップリングの組み立て装置も、自社で作っています。部品をただ購入するだけでなく、加工の方法もいろいろ工夫しています。部品加工を



自前の加工機



工作機械が並ぶ

外部に発注するとその分コスト高になり、技術を磨いていくことができません。開発や製造を行っていく過程で、さまざまな工夫を凝らしていく姿勢が、当社のDNAとして受け継がれているのではないかと思います。

また、顧客からの要望に応えるという受け身の姿勢ではなく、ニーズが顕在化していない段階から「このようなセンサがあれば便利ではないか」とアイデアを出して、新たな製品を作ることがあります。いわばシーズの発信です。こうした製品は展示会などに出席してアピールしており、実際に採用された例もあります。

生産体制の拡充が課題

先代の父が創業したのは、私が3歳の時で、幼い頃からさまざまなものづくりを見て育ちました。大学を卒業してからは、大手自動車メーカーのグループ企業に入社し、生産技術部門に配属されました。こういった経緯もあり、私自身はいろいろと工夫をしな

から、ものづくりをするのが面白いと感じています。

経営課題として、原材料高をはじめとした物価高の中で、製品の価格設定をいかに適正化していくかに頭を悩ませています。また、今後受注が増えて生産量が拡大した場合に備えた生産体制の整備も必要です。人手不足から人員を増やさずに生産性を上げるような対策も、大きな課題となるでしょう。今後も市場の行方を先読みしながら、これまでにない独創的で付加価値の高い自社製品の研究開発に努めていきます。

商号 アサ電子工業株式会社
代表者 代表取締役 麻健
所在地 東京都小平市小川東町5-16-8
従業員 54名
創立 1974年6月
ホームページ <https://www.asadenshi.co.jp/>

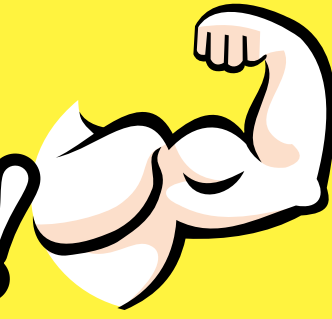


My proud technique is...

TAMA協会会員の

今月の

ワザ自慢!



効率アップ、品質向上、明日のイノベーションのため、独自に磨いた技・業・ワザに学びたい。コンペティターや見えない市場を想定し、自社の強みを打ち出すところに成功の鍵がある。

精密成形用金型の設計・製作 狭山金型製作所

人手による鏡面加工で世界へ

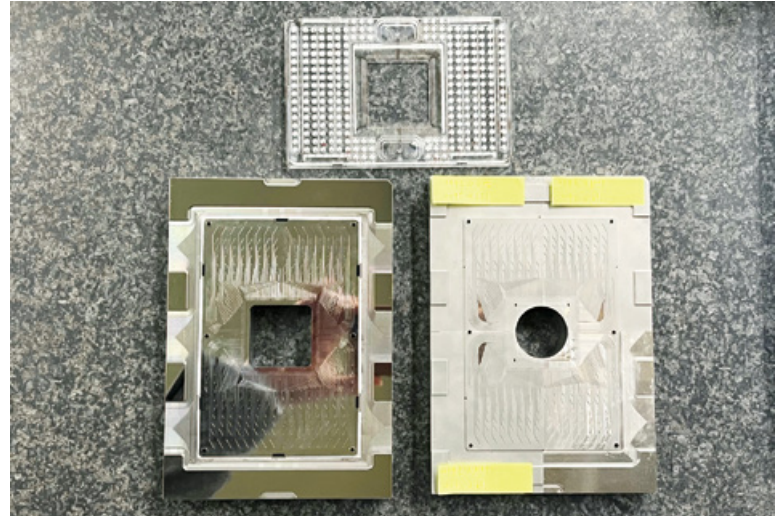
狭山金型製作所(埼玉県入間市)は、精密成形用金型の設計・製作から、精密成形品製造、微細部品加工までを手掛け、金型・成形技術のコンサルティングも行っている。同社の金型は主に、スマートフォンをはじめとした電子機器や家電製品、自動車向けに使われている。設備では最先端のNC研削盤や放電加工機、ワイヤー放電加工機、マシニングセンターなどを



導入。加工現場の室温の誤差は±1℃に保っている。

大場総一郎社長は、「当社はもともと半導体のテストソケット用の金型や、コネクタをメインとしてきました。金型製作では±1マイクロメートルという精度を出せる、精密微細分野に特化した会社です」と説明する。同社では「コアピンと呼ばれる(穴などの形状を作るための)小型部品を組み合わせて金型を作るのが得意です」(大場社長)。

同社は半導体向け技術で培った技術を応用し、医療用検査装置の部品用に金型を製作し、米国の分析機器メーカー向けの量産化に成功した。同製品は、金型製作のための機械加工精度だけでなく、職人技の手加工による金型鏡面磨きが要求される。大場社長は「隙間に樹脂が入り込んだり、逆にそれを押さえ込むために充填不足になったりするといった技術的課題がありました。それらを私どもが持っている金型技術で解決できました」と胸を張る。医療機器ではこの他にも、カテーテルの部品を扱っている。



日本の金型業界はグローバルな営業力を強化すれば、潜在的な成長性があると見る大場社長。「今後も欧米やシンガポールなどで、競合が少ない分野に入っていけば、ビジネスチャンスは広がると思います。こうした取り組みをこれからも続けていきます」と先を見据える。

商号 株式会社狭山金型製作所
 代表者 代表取締役社長 大場 総一郎
 所在地 埼玉県入間市宮寺756-4
 創立 1964年5月
 ホームページ <http://www.sayama-kanagata.co.jp/>



〔本コーナー掲載企業募集中〕

貴社の「ワザ自慢!」を記者が取材します。お問い合わせは、事務局(info@tamaweb.or.jp)まで

ミライ
へ
つなぐ



株式会社バンガードシステムズ

× 首都圏産業活性化協会

自社の生産ノウハウをIoT技術へ

バンガードシステムズ(埼玉県所沢市)は、製造業向けの生産管理システムの開発と販売事業で第6回事業再構築補助金の採択を受けた。同社は主力事業の一つとして、テーピングサービス(半導体や電子部品などの梱包を請け負う事業)を手掛けており、日々多種多様な製品をテーピングするノウハウをシステム化し、ハードウェアとソフトウェアを組み合わせたIoT(モノのインターネット)サービスを開発中。同補助金の認定支援機関として、首都圏産業活性化協会(TAMA協会)がバンガードシステムズを支援した。

DXの観点から新たなシステムを発想

同社のテーピングサービスでは、エンボスキャリアテープ、カスタムテープなどの資材を使い、半導体標準パッケージ、一般電子部品、異型

部品、各種金属加工部品を少量から量産まで梱包している。特に顧客が製造した製品を1日でテーピングする「1DAYサービス」を売りとしている。同社には平均で一日100種類もの製品が持ち込まれるが、その日のうちにテーピングして出荷しなければならない。

さらに、毎日顧客の顔ぶれが変わり、50個や100個といった小ロットの製品もあり、梱包する製品が変わるたびに段取り替えなどが生じる。

例えば飛び込みで受注が来た場合などに、Aという製品のテーピングを一旦中断し、別のBという製品を先にラインへ流す。その後再び、中断していた製品Aを同じラインに戻すといった、複雑な工程を体系化した。同社の高木英一専務執行役員は、「コロナ禍で新たな事業を模索していた2022年夏頃、こうしたノウハウの蓄積をデジタル化できれば、人手に頼らず生産

実施報告

Layer1:交流

自治体勉強会

首都圏産業活性化協会(TAMA協会)は2月14日、「第13回自治体地域産業政策勉強会・令和5年度第2回産業振興セミナー」を開き、14都県・市区町村関係者20名が参加しました。笹田知弘シンミドウ社長が、企業と自治体が連携して進めた、人材不足解消に向けた取り組みを紹介。堀誠一industria人材マネジメント室室長は、取り組み事例や企業の人事担当者からの声を紹介しました。



また、スピンオフ企画として1月19日に「さがみはら産業創造センター見学会・意見交換会」を開催。15都県市区町村から15名が参加し、同センターの施設見学や創業支援・経営支援策についての意見交換・情報交換をしました。

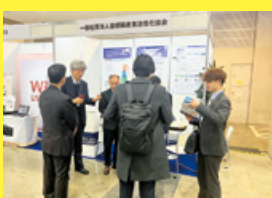
第46回つなぐWa Session

TAMA協会は2月16日、八王子市新産業開発・交流センターでオンラインとの併用により、第46回つなぐWa Session「人材戦略立案セミナー～人材について有益な情報提供します～!!」を開催しました。中島崇明晴グループ新日本学院学校長、中野尚範アドヴァンテージ代表取締役、戸井朗人東京工科大学工学部教授・キャリアコープセンター長、天野直紀同大工学部教授、水谷洋司ニコン総研プライム取締役兼執行役員営業部長が登壇。セッション終了後には懇親会も開き、懇親を深めました。



スマートファクトリー Japan2024

TAMA協会は2月20～22日、東京ビッグサイトで開催された「スマートファクトリーJAPAN 2024」にTAMA協会ゾーンを設けました。会員企業からはindustria、イノフィス、エキサイター、コダマコーポレーション、システム技研、テクニカ、日本システム開発、バイオネット研究所、八洋、バルキー・インフォテック、ユニテックス、リガルジョイント、事務局(TAMA協会/イチカワ)の13社・団体が出展しました。協会では今後も同様のイベントを企画するとともに、さらに盛り上がるものにしていきたいと考えています。



たま工業交流展

たま工業交流展(たま工業交流展実行委員会などが主催、TAMA協会が後援)が、2月21・22日の両日、開かれました。工業を主体とした部品加工技術製品等材料部品などの技術品をはじめ、環境関連、情報関連・ソフト開発、多摩地域の工業系学校や協力団体などが出展。23日には「たまロボットコンテスト」も開かれ、技術を競い合いました。

第47回つなぐWa Session

TAMA協会は2月29日、第47回つなぐWa Session「令和6年度成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech事業)公募説明会、申請書、経営デザインシートの作成のポイント」をオンラインで開催しました。今回は研究開発プロジェクトを有利に進めるための外部資金獲得をテーマに設定。数ある補助金の中でも特に、経済産業省が中小企業の研究開発・試

作品開発を促進するための支援事業「成長型中小企業等研究開発支援事業(通称:Go-Tech・旧/サポイン事業)」に焦点を当てて解説しました。また、事務局より「経営デザインシート」の書き方についての解説もありました。

第4回つなぐWa Session・Global

TAMA協会は2月26日、八王子市新産業開発・交流センターでオンラインとの併用による「第4回つなぐWa Session・Global」を開きました。ゲストとして大澤裕ピンポイント・マーケティング・ジャパン社長、高塚一日本貿易振興機構(ジェトロ)海外展開支援部主幹が登壇。大澤社長は「海外で売れるモノ・サービス、これから海外展開・進出をする上での心構え」などについて講演し、高塚氏による「中堅・中小企業の海外展開をサポートする『新輸出大国コンソーシアム』」についての説明がありました。



今後の予定

(予定は変更になる可能性があります。詳細はホームページをご確認ください)



Layer1:交流

令和5年度イノベーション創出・DX促進支援 成果報告会

日時:2024年3月15日(金) 16:00～ 場所:オープンイノベーションフィールド多摩 八王子館2階会議室 テーマ:「イノベーション創出」「DX促進支援」

合同新人研修2024

日時:2024年4月2日(火)、3日(水)、4日(木) 10:00～17:00
場所:東京たま未来メッセ 第5会議室

第40回はむらイブニングサロン「マーケティング理論の自分ごと化」～Jackyと考察する事業戦略～

日時:2024年3月26日(火) 16:30～18:00 ※開催終了後に懇親会を開催を予定
場所:プリモホールゆとろぎ(羽村市生涯学習センター) 2F
テーマ:マーケティング理論を活用した事業戦略の構築

SICミニセミナー

日時:2024年3月27日(水) 15:00～16:30
場所:さがみはら産業創造センター 大会議室
テーマ:BtoB型企業のWebマーケティング実践(基本編)

そろそろやらなきゃ...とお思いのあなた!

クラウド型事業承継実行支援サービス

承継ちゃん

かんたん 月々6,600円

自分でできる

syoukeichan.com

でシステム化



を効率化して無駄を省くシステムが構築できるのではないかと考えました」と明かす。

生産ラインを流れるモノに着目

事業再構築補助金の活用を巡っては、「新事業を打ち立てる必要があったため、DXといった着眼点から、ソフトウェアとハードウェアを組み合わせたクラウド型システムの開発と販売を打ち立てました」(高木専務)。同社の生産管

理システムでは、部材が製造工程に入ってきてから加工などを経て出荷するまでのプロセスについて、設備や人ではなく、モノに着目した。

具体的には、部材が入ったトレーに電子タグを取り付け、ラインに複数設置した読み取り機とBluetoothで情報をやり取りする。まず、ラインに入ってきた時点で、ソフトウェア処理により電子タグ自身が自動でタイムスタンプを打つ。二次元コードやバーコードを使い、人が部材情報を読み取る作業が省ける。さらに「部材側に付いている電子タグの情報をクラウドなどに蓄積することで、どこをどう通ってどう分岐し出荷に至ったのかすべて履歴が取れる」(高木専務)。タグのサイズは現在、カード型から絆創膏程度の大きさまで対応できる。

この生産管理システムの最大の特徴は、工場内における部材の流れを線で捉えていること

だ。人手を介さずに、モノの動きを機器とシステムで把握するため、頻繁に起こる工程の変更を自動で追跡し、出荷時には電子情報を製品ごとに束ねられる。

2度目の挑戦で採択

事業再構築補助金に採択されるまでには苦労もあった。最初にトライした第5回公募では採択に至らなかった。高木専務は「総合評価はAでした。ただ、全ての項目で満点ではなかったということです。そこで、どの項目がAに届いていなかったかを分析し、第6回公募に再チャレンジしたところ、採択されました」と振り返る。

「事業再構築補助金では、採択されなかった場合に、事務局からどこが至らなかったのかという情報が聞けます。そこで聞いた話を加味して、不十分だった部分を補完してもう一回資料



高木英一専務執行役員

を作り直し、再申請をしました」(高木専務)。ハードとソフトを組み合わせ、さらにクラウドも活用したシステムだっただけに、同補助金では珍しい例となった。

商号 株式会社バンガードシステムズ
代表者 代表取締役 高島 一郎
所在地 埼玉県所沢市東所沢1-27-23
創立 1986年10月
ホームページ <https://www.hp-vanguard.com/>





広げよう会員の輪 新規会員の紹介



新規会員との意見交換・面談を希望する方は、事務局へご連絡ください。

NEW

経験豊かなシニア人材を活用してみませんか？ ニコンで働くプロフェッショナルを 貴社の課題解決や発展のためご活用ください

株式会社ニコン日総プライムは、株式会社ニコンで定年を迎えた方の再雇用を行っており、人生100年時代を見据えたキャリア支援として、企業とのマッチングを推進しております。

設計開発・品質管理・生産技術・製造・営業・人事・経営等、幅広い分野で貴社に貢献いたします。

フルタイムでの雇用からスポットでのご契約まで、貴社のご希望に応じ対応いたします。

シニア人材の活用にご興味をお持ちいただけましたら、ぜひお問い合わせください。



株式会社ニコン日総プライム
神奈川県横浜市港北区新横浜2-14-2 新横浜214ビル 3F
TEL 045-478-6127 URL <https://www.n-prime.co.jp/>



NEW

環境創造会社 やましたグリーン

株式会社やましたグリーンは、造園業を革新する企業です。「植木の里親」「もらえる植物園」といったSDGs事業を展開し、不要になった植物に新しい家庭を見つけることで、環境への貢献と社会への愛を結びつけています。このユニークな取り組みは、グッドデザイン賞ベスト100をはじめとしたさまざまな賞を受賞しています。また、八王子市が唯一所有する日本庭園、「高尾駒木野庭園」の管理を手掛けるなど、庭師たちの高度な植栽管理技術は八王子市からも高く評価されています。



株式会社やましたグリーン
東京都八王子市下恩方町1207-9
TEL 0120-834-028 (フリーダイヤル) TEL 042-673-7230
URL <https://www.yamashitagreen.com/>



NEW

いつも事務所にいない行政書士

30年間の行政書士事務所経営の間、許認可申請関連の代理のみならず、顧客間のM&Aや事業承継等の支援や制度融資等による資金調達をサポートも併せて行ってきました。本年より投資機関とのマッチングをご案内できるようになりましたので、事業展開やスタートアップの資金需要に対し、より広い相談窓口となります。培ってきた知識と情報と人脈をベースに、実のある中小企業支援を目指します。現場主義です。事務所にいません。



田島行政書士事務所
行政書士 田島 比呂志
東京都江戸川区東葛西5-12-4-504
TEL 090-3910-9520

NEW

今後大きな問題となる 廃太陽光パネルガラスの リサイクル問題を解決

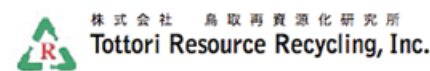


株式会社鳥取再資源化研究所は、ガラス発泡技術をコアとしてさまざまな応用技術を開発・展開しています。

事業内容 ■ 廃ガラスの無害化発泡技術による発泡ガラス製造 (特許取得)
■ 太陽光パネルガラスの不溶化技術による発泡ガラス製造 (国際特許取得)
■ 発泡ガラスを活用した各種応用技術の開発・販売

フッ素吸着・分離 (特許取得) / リン吸着・分離 (特許取得) / 微生物発電 (特許申請中) / 悪臭分解 / 土壌改良 / 塩類集積対策 / 太陽光発電雑草対策
上記以外の新たな応用技術の開発も進めています。

株式会社鳥取再資源化研究所
鳥取県東伯郡北栄町東園583
TEL 0858-49-6230
URL <https://www.t-rrl.jp/>



第2回 首都圏産業活性化協会 ゴルフコンペ

2024年

5/23 日

開会式 8:00 (マスター室前)

受付開始 7:30~

スタート IN/OUT 8:24~

場所 長竹カントリークラブ 神奈川県相模原市緑区長竹1838

参加費 | 5,000円 (パーティ、商品代)

※駐車場あり
※JR・京王線橋本駅北口からクラブバスをご利用いただけます。

プレー費 | 各自ご負担願います
(キャディ付き約16,000円/昼食代別)

申込 | 下記URLの申込フォームよりお申込下さい。
<https://www.tamaweb.or.jp/archives/44182>



一般社団法人首都圏産業活性化協会 ☎042-631-1140 ✉info@tamaweb.or.jp



会員募集中

TAMAネットワークから
新しい未来を創造しませんか？

■ 首都圏産業活性化協会 (TAMA協会) は産学官金による会員組織です。研究会・交流会への参加、個別企業の支援など、会員間の交流促進と会員企業の支援を行っています。

■ 会員メリット ● 毎月1回以上開催される会員交流会のご案内 (参加費無料) ※2022年度実績27回
● 企業や研究機関の探索、マッチングコーディネーター
● 経産省・各都府・地方自治体等の補助金をはじめとする最新情報のご提供
● 各種補助金・助成金申請の支援 ※認定経営革新等支援機関 (第3号 ID:100313031220)
● カーボンニュートラル・DX等に取り組む身近な事例のご提供など

入会申込書はホームページからダウンロード可能です。

<https://www.tamaweb.or.jp/about/guidance>

申込書をご記入の上、EmailかFAXにてご送付ください。



一般社団法人 首都圏産業活性化協会 (TAMA協会)
Tel.042-631-1140 Fax:042-631-1124 E-mail info@tamaweb.or.jp URL <https://www.tamaweb.or.jp>

TAMA経済NEWS (つなぐWa) では広告協賛いただける企業を募集しています。詳細は事務局 (info@tamaweb.or.jp) までお問い合わせください。

【サイズ】①横57mm×縦48mm、②横57mm×縦100mm、③横262mm×縦98mm、④横127mm×縦142mm (特別枠) の計4タイプがあります。

発行元・問い合わせ

一般社団法人首都圏産業活性化協会「つなぐWa」は、協会ホームページへ掲載し、メールマガジン等で企業・自治体・商工団体・金融機関等へご案内しています。

一般社団法人首都圏産業活性化協会 Email: info@tamaweb.or.jp URL: <https://www.tamaweb.or.jp/>

■八王子事務所

〒192-0083 東京都八王子市旭町9-1八王子スクエアビル11階 TEL:042-631-1140 FAX:042-631-1124

■羽村サテライト (月曜日休館)

〒205-0003 東京都羽村市緑丘2-11-1羽村市産業福祉センター1階 TEL:042-570-3481 FAX:042-570-3482